

R. I. (社会システム学科・2 年次生)

I. 留学レポート

① 留学を目指した理由

高校生の時の学校のプログラムでニュージーランドに行ったことがきっかけで、もっと英語がうまくなりたい、日本とは違う文化を知りたいと思うようになりました。

② 留学決定から出発までの準備期間

出発直前までオンライン英会話を毎日欠かさずしていました。

③ 現地到着後

私は父と現地に行きホテルに数日滞在し、ホテルから寮に語学留学の方が手配して下さった車で向かいました。大体1時間くらいで着くのですが、フィリピンは渋滞がとても多いのでそれよりも倍時間がかかる場合もあります。

④ 語学研修機関

◆ 施設・環境・スタッフ

語学学校の校舎は、大学キャンパス内の一番奥にあり大きくはありませんが、カフェテリアや寮にも近く立地が便利でした。スタッフは気さくな方ばかりでした。行きの車を手配して下さったスタッフの方は特にしゃべりやすく相談にのってもらったりもしていました。

◆ 授業内容、課題、試験

1 モジュールの初日に1回、モジュールが終わる最後の週に1回と合計2回試験があります。モジュールの最終日に貰う修了証にその2つの点数の結果とアドバイス等が書かれています。課題は毎日ではなく、それほど多いとは思いませんでした。ただ、モジュールアクティビティが1つのモジュールごとにあり、グループを組んでアクティビティに取り組むのですが、そのアクティビティは課題が多く出ました。先生はフレンドリーな方ばかりで毎日楽しく授業を受けることができました。

⑤ クラブ、課外活動、ボランティア活動

基本的にはしていませんでした。ただ、大学の日本の文化が好きな方が集まっている日本クラブに参加し、日本の文化を教えるなど時々一緒に活動をしていました。

⑥ 現地での住まいについて

私は寮に滞在していました。寮には扇風機だけでクーラーがなく暑かった時期はありましたが、快適に過ごせました。寮内にはキッチンがあり料理を楽しめます。あと、ウォーターサーバーが設置してあるので、水に一切困ることなく過ごすことができました。

⑦ 長期休暇の過ごし方

フィリピンには日本では見られないような大型ショッピングモールが沢山あるので友達とショッピングを楽しんだり、CEBEなどのビーチに数日遊びに行ったりもしていました。

II. 留学の感想

① 留学中で楽しかったこと、最も思い出に残っていること

留学中楽しかったことは CEBE に旅行に行ったことです。CEBE でアイルランドホッピングツアーに申し込んで、シュノーケリングをしたり、BBQ・マンゴーを食べたり、ココナッツジュースを飲んだり、のんびり楽しむことができました。

印象に残っていることは授業で行うモジュールアクティビティです。グループを組んで毎モジュール違うアクティビティに取り組みました。1モジュールのなかで1番大変なことだったので印象に残っています。

② 留学中でつらかったこと、最も苦勞したこと

最初スピーキングが特にできなくて、言いたいことがあるのにうまく伝えられなくて苦勞しました。リスニングもスピードが速く感じていて苦勞しました。ルームメイトは私より元から話せる方が多かったのでレベルの差を感じたり、自分のできなさを痛感することも多く、つらく悔しかったです。

③ 文化・習慣の違いなどで驚いたこと

レストランでセッティングされるカトラリーといえばナイフとフォークが主流ですが、フィリピンでは基本的にフォークとスプーンを使って食事をすることに最初驚きました。そしてスーパーマーケットに行くと日本と同じようにプラスチックのビニール袋ではなく紙袋に商品をいれてくれるのが一般的なのも驚きました。

III. 留学希望者へのアドバイス

① 日本から持って行って、特に役に立ったもの

- ・虫よけスプレー・ムヒ・冷えピタ・生理用品・USB・海外式ドライヤー
- ・パソコン（モジュールアクティビティのため）・傘・日焼け止め・消毒液
- ・ショルダーバッグ

② 語学力の向上等、留学の成果、留学前と後で変わったこと

ルームメイトはみんなとても優しくフレンドリーな方ばかりで、英語ができないことや文法の間違いを気にすることよりも、もっとルームメイトと仲良くなりたい、楽しく会話したいという思いが強くなり、英語を喋ることにほとんど抵抗がなくなりました。自分の英語力に対しての不安は消えませんが、自分の意志を伝えること・人を受け入れることなど精神的にも大切なことを学びました。

③ これから留学をしようと思っている後輩へのアドバイス

留学は誰に対してもかけがえのない宝物になる時間になることを保証します。日本とは違う環境・言語・初めて食べる料理・国籍が様々なクラスメイト・かけがえのない友達・ルームメイトと過ごす時間は時には辛いこともあります。それが自分にとってとても大きな利益になり、忘れられない一生の思い出になると思います。留学は最初不安なことが多い

と思いますが、自分のためにもなるし是非挑戦してみてください😊

IV. 将来の目標

① 今後の進路、将来の目標・夢

留学に行く前は英語は勉強の教科の1つとっていて正直あまり好きではありませんでしたが、英語はコミュニケーションの1種のツールであることに気づきました。たくさんの英語を話す方と触れ合う機会が多く持てたことにより、留学後はその考え方が360° 変わり英語が大好きになりました。将来的は、英語を話す機会があるグローバルな仕事につければいいなと思っています。

V. 写真



CEBE でのシュノーケリング



フィリピンで一番人気のファーストフード店 (Jollibee)